

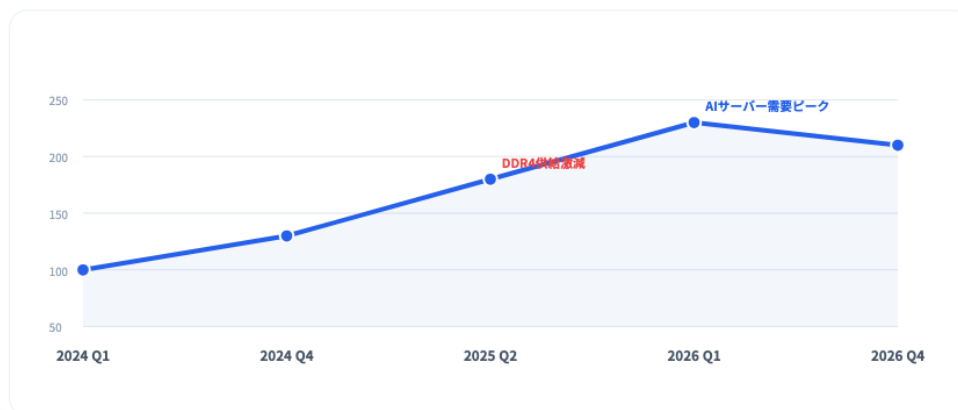


■ メモリーは供給の 70%がデータセンター向けに固定される「新常態」へ弊社 Share の価格変更につきまして、もう少し突っ込んでみます。

Google Gemini Pro の Deep Search 機能で **PC メモリーの市況とその原因、今後の見通し**について調べてみると、タイトルのようなショッキングな**予想**が出ました。

まず、価格トレンド（市況）ですが、**2026 年 Q1 では 2 年前と比較して 2 倍以上の価格**になることが見込まれています。これは昨年後半からの体感的にもあっていると思います。

## 価格指数トレンド予測 (2024-2026)



※ 価格指数：2024年Q1を100とした場合の市場平均予測値

図；PC メモリーの価格トレンド（作成；Google Gemini）

この原因を要因別に分析したのが以下の表です。影響度として最も大きいのは、

- ・ AI 需要の爆発
- ・ サプライヤー戦略

です。2026 年には**世界供給の 70%がデータセンターで消費される！！** なんてことでしょう。

カテゴリ	影響度	概要と主要数値の根拠
AI需要の爆発	5 / 5	2026年には世界供給の70%がDCで消費。Stargate計画等により需要が極端に偏重。
サプライヤー戦略	5 / 5	利益率70%超のHBM生産を最優先。2026年までの生産枠は主要3社とも完売状態。
技術転換 (HBM/DDR5)	4 / 5	HBMはDDR5の3倍のウェーハ面積を消費。生産効率の低下が供給不足を構造化。
地政学的リスク	3 / 5	重要鉱物の輸出規制等による不透明感。スポット価格が週単位で10%上昇する不安定要因。
円安 (日本市場)	4 / 5	ドル建て契約価格の55-60%上昇に加え、為替損が直撃し国内価格はさらに高騰。
市場の縮小・物流	3 / 5	価格高騰によりPC出荷台数が最大9%減少予測。物流コストの価格転嫁も進行中。

図；PC メモリーの価格高騰の要因分析（作成；Google Gemini）

タイトルに**固定**とあるのは、**もう昔にはもどらない**という意味です。

**あまりに DC の需要が大きいので、メモリーサプライヤーは「DC に全振り」**

これを**基本戦略**にするからとのこと。

半導体サプライヤーはプロセス系メーカーなので、**段取り替えが少ないほど儲かる**ということもあると思います。

PC メモリーについてレポートしましたが、ゲームやスマホ、あるいは車なども構造的には **PC の模倣**なので影響はとんでもないことになります。